

新たな主力製品の創出で 売り上げ増と雇用創生を実現

課題

新規機械の導入で 人員不足を補いたい

昭和43年に創業した株式会社城北スプリング製作所。確かな技術力を武器に、精密バネを中心とした加工製造・販売を行ってきた。近年、海外からの安価な輸入バネが台頭したのを機に、平成25年にベトナムへの進出を果たした。ベトナム工場では、国内で製造していない3mmまでのバネ加工ができる機械を導入し、車両関係など細かいバネを必要とする新たな顧客獲得に成功。5年経った現在でも、ベトナム南部にはバネメーカーは同社だけである。

こうしたなか、主力製品の光ファイバー用コネクタバネの受注が同社の人員ではまかないきれなくなっていた。そこで、新たな設備機械の導入を検討するも、光ファイバー用コネクタバネ製造を自動化をする際の資金調達が課題だった。この課題を解決するため、同社は平成27年、那須町商工会に相談をした。

支援

助成金と専門家派遣で 新たな主力製品を創出

相談を受けた商工会は、同社の強みである熟練の職人的製造技術を活かすため、ものづくり補助金の申請を行った。申請が採択され、新設備が導入できたことで、増産とコスト削減が同時に実現できた。

しかし、コネクタの組み立ては東南アジアで行っているため、材料費の値上げや海外に送るコストの値上げで、利益が取れない。新たな主力製品として、車載用の新規アンテナモデルに使用する28品目のバネの製造を行うことを決めたが、車載用新規アンテナの製造を行うためには、また新たな設備導入が必要だった。そこで、商工会に2度目のものづくり補助金申請の支援依頼を行った。

商工会は申請に有利な経営革新計画の作成と経営力向上計画の策定支援を行うと同時に、ものづくり補助金の申請に強い中小企業診断士を派遣。経営者が作成した申請書をブラッシュアップして、精度の高い内容に仕上げた。

こうした努力と手厚いサポートで2度目のものづくり補助金も採択され、新たな主力製品としてのバネ製造ラインが同社に加わることとなった。

現在、同社が町に申請予定の先端設備等導入計画について、



ものづくり補助金で設備を導入

商工会が支援機関として継続支援を行っている。今後も商工会認証システム（ランクアップ事業）などにより、事業所に寄り添いながら継続的な伴走支援を行う予定だ。

同社は、ベトナム法人がある強みを活かし、優秀な技能外国人の育成にも努めたいと考えている。パートタイムで働ける女性や障害者を中心とした雇用予定もある。外国人や障害者などの人材育成にも努めることで、地域と共存する企業として発展していくことが期待される。

支援の経過

期間	支援内容
H27年11月	ヒアリング・ものづくり補助金の申請支援
H28年2～5月	専門家派遣
H30年3～4月	
H27年6月	ものづくり補助金の申請支援
H30年6月	
H28年8月～29年1月	企業力ランクアップ事業の申請支援（H29年認証）

会社概要

会社名：株式会社城北スプリング製作所
住所：栃木県那須郡那須町大字寺子乙2567-57
電話番号：0287-72-6126
URL：http://jyohoku-spring.co.jp
代表者名：代表取締役 平野牧子
創業年：昭和43年
従業員数：6名
商工会名・担当者名：那須町商工会・角田幸絵